科目コード/科目名	AC310/史学講義 10		
(Course Code / Course Title)	(Lectures on History 10)		
テーマ/サブタイトル等	   前近代東アジア・ユーラシア2		
(Theme / Subtitle)	削近代泉アクア・ユーブジアと		
担当者名	辻 大和(TSUJI YAMATO)		
(Instructor)	近 大和(TSUSI TAMATU)		
学期	秋学期(Fall Semester)	単位	2単位(1 Credits)
(Semester)	次子朔(Fall Semester)	(Credit)	Z单位(T Gredits)
科目ナンバリング	HIS3500	言語	日本語
(Course Number)		(Language)	(Japanese)
備考			
(Notes)			

# 授業の目標(Course Objectives)

近世朝鮮の国際関係史の基本的な動向、基礎的史料、制度について自分で説明できるようになること

To explain basic knowledge on pre-modern Korean history

# 授業の内容(Course Contents)

講義では、歴史学の最新成果に基づき、14 世紀の朝鮮王朝建国から 19 世紀の開港にいたる、約 500 年間の朝鮮王朝と周辺 諸国との関わりに関する基礎的知識を学ぶ。同時代の朝鮮半島と中国・日本等との交流の状況について把握し、歴史の見方・考 え方について習得する。

This course studies Korean history from 14th to 19th century

# 授業計画(Course Schedule)

- 1. ガイダンス 韓国朝鮮の地理、基礎的な工具書
- 2. 高麗と元
- 3. 朝鮮の建国と明
- 4. 朝鮮の国家体制と史料、データベース
- 5. 朝鮮と中世日本
- 6. 朝鮮と東北アジア
- 7. 壬辰丁酉の乱 (文禄慶長の役)
- 8. 丁卯丙子の乱
- 9. 朝鮮と清① :清朝と朝鮮との関係
- 10. 朝鮮と清②: 燕行使と燕行録
- 11. 朝鮮と近世日本:倭館、通信使
- 12. 19世紀の朝鮮
- 13. 開港と国際関係
- 14. 総括・まとめ

# 授業時間外(予習・復習等)の学習(Study Required Outside of Class)

東洋近世史に馴染みの薄い受講生は、授業初回等に案内する補習教材で自習すること。

全受講生がテキストを毎回予習するほか、数回に一回の小課題(指定文献を規定字数内に要約して考察するもの)を提出すること。シラバスや各回教材掲載の参考文献のうち、自身の問題関心に近いものを読み発展学習させること。

### 成績評価方法·基準(Evaluation)

レポート試験(Report Exam)(50%)/毎回のリアクションペーパー(20%)/数回に一回の小課題(30%)

#### テキスト(Textbooks)

1. 岸本美緒/宮嶋博史、2008、『世界の歴史 12 明清と李朝の時代』、中央公論新社 (ISBN:9784122050549)

# 参考文献(Readings)

- 1. 武田幸男編、2000、『朝鮮史』、山川出版社(ISBN:9784634413207)
- 2. 田中俊明編、2008、『朝鮮の歴史―先史から現代』、昭和堂 (ISBN:9784812208144)
- 3. 森平雅彦、2011、『モンゴル帝国の覇権と朝鮮半島』、山川出版社 (ISBN:9784634349377)
- 4. 六反田豊、2013、『朝鮮王朝の国家と財政』、山川出版社 (ISBN:9784634349483)
- 5. 山内弘一、2003、『朝鮮からみた華夷思想』、山川出版社 (ISBN:9784634346703)
- 6. 関周一編、2017、『日朝関係史』、吉川弘文館 (ISBN:9784642083089)
- 7. 韓国教員大学歴史教育科編、2006、『韓国歴史地図』、平凡社 (ISBN:9784582411058)

その他(HP 等) (Others(e.g.HP))

注意事項(Notice)